



上北谷 笑楽好 だより No.14

# チャレンジ通信

令和5年3月20日

～感染予防対策に、引き続きご協力をお願いします～

## 「いじめ」事案の認知について

「えっ、これもしじめなの!？」 いじめの認知を今まで以上に厳密に行います。  
もっともっと温かく、思いやりある上北っ子を目指して、チャレンジ!!

校長 藤ノ木 昌史

平成25年、「いじめ防止対策推進法」が制定され、法の規制の下、いじめ防止対策が行われています。そこでは、「いじめ」を次のように定義しています。

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

つまり、「嫌だ。苦痛だ。」と感じる行為を受けた場合、すべて「いじめ」と認知し、法に基づき適切な対応を取る必要が生じます。

また、令和2年、「新潟県いじめ等の対策に関する条例」が制定され、「いじめ類似行為」についても、「いじめ」と同様に扱い、行為を行った児童等に対して、学校は保護者と連携しながら適切な指導を行うことを定めています。

学校生活において、子どもたちの間に様々なトラブルが発生します。

例えば、けんかがあった場合、互いに「嫌だった。痛かった。」となると、法律的には2件の「いじめ」が発生したことになります。

例えば、難しい問題を自分の力で解こうと頑張っていたのに、急に友達が答えを教えてきたため、自力で解決できずに「すごく嫌だった。」となると、それも「いじめ」になります。友達は親切のつもりだったのかもしれませんが…。

中には、法律的には「いじめ」になるものの、対等のけんか、法令に基づく行為や正当防衛に当たる行為で相手に苦痛を感じさせるケース等、「いじめ」と取り扱わない例もあります。

当校でも、子どもの中で日々様々なトラブルが起きます。その場合、子どもたちからしっかり話を聞いて、トラブルの実態を正確に把握することに努め、その上で互いが納得するように指導に努めてきました。その把握状況から、昨年度は当校において「いじめの認知はなし」としておりました。

しかし、「いじめの問題について認識を高める」「人権を大切に考える意識を育てる」

「深刻ないじめに発展しそうなことをごく初期の段階で解消する」等いじめ防止対策の理念から、「子ども間のトラブルをより厳密に検討し、法令に正対して『いじめ認知』を進め対応する必要がある」と、教育委員会から指導をいただきました。

いじめ防止対策は、何よりも被害者の立場を最優先に考え、守ること、そしていじめをしない、許さない風土を作ることです。

今後、ご家族から見ると、「そんなことが…」と思われることでも、学校では「いじめ」として認知し、ご家庭のご協力をお願いすることが増えます。加害側の保護者にとっては心穏やかでないケースも起こるものと推測できます。

学校が「いじめ」と認知した場合、必ず保護者に伝えます。

被害の場合、心身の安全を守り、安心して生活ができるようにするために、家庭と学校と連携してケアや対策を進めます。

加害の場合、行為を振り返りよりよい行動ができるようにするために、家庭と学校で連携して指導を進めます。悪者扱いするのではなく、望ましい成長のための情報提供であり、子どものための家庭と学校の連携でありたいと考えています。

すべての子どもの望ましい成長のために、学校職員、ご家族の皆様が、大人として、子どもの人権感覚の育成を進めていきたいと願っています。

「いじめ」のない学校でありたいと、職員も子どもも家庭も願っています。

そのための今後の取組にどうぞご理解とご協力をお願いします。

今年度の春からの様々な事案を改めて見直し、3件の事案をいじめ事案として認知する必要があると判断しました。現在は、すべて一定の解消をしています。

### 例えば、このような場合も「いじめ」と認知し対応します。

- 授業中に先生に指名されたが答えられないAさんに、Bさんが「こんな問題もわからないの」といい、Aさんは「馬鹿にされた」と傷ついた。
- Cさんは、Dさんからブランクの順番を抜かされて、悲しい顔をしていることが度々あった。
- おとなしいEさんに、Fさんは「もっと積極的に友達に話したほうがいいよ」と好意的に助言したつもりだったが、自分の性格を気にしていたEさんは、その言葉で深く傷ついた。
- Gさんに、Hさんはふざけ気分で消しゴムをちぎって投げた。Gさんは何度もやめてといったが、Hさんは笑いながら続けた。
- 2年生のIさんに、6年生のJさんは同学年の友達に言うような口調で、「何やってんだよ」と言ったら、ひどいことを言われたとIさんは傷ついた。